

# SR-1000

## スタンドアロン統合メディアブロック™

高安定・高性能IMB



GDCテクノロジーは、デジタルシネマの登場以来、常に技術開発の最前線に立ち続けています。業界初のユニークな新商品発表から、技術サービスの提供に至るまで、GDCは統合メディアブロック (IMB) のリーダーとして業界をリードしてきました。SR-1000は、同社の第6世代デジタルシネマメディアサーバーで、メンテナンスがほぼゼロで、総所有コストを最小限に抑えられるように設計されています。SR-1000は、最大500MbpsのビットレートでSMPTEおよびInteropデジタルシネマパッケージ (DCP) の再生をサポート<sup>1</sup>、DTS:X™イマーシブオーディオソリューションは、SMPTE ST 2098-2 immersive audio bitstream (IAB) 規格をサポートしています。

SR-1000は、将来を見据えた柔軟なアーキテクチャにより、4K、内蔵ディスクレスCineCache™ 2TB、4TB、さらに、DTSシネマオーディオフォーマットとして、DTSサラウンドやDTS:X for IABのアップグレードオプションも準備しています。DTS:X for IABイマーシブ・オーディオ・ソリューションは、SMPTE ST2098-2イマーシブ・オーディオ・ビットストリーム (IAB) 規格をサポートしています。



**SR-1000 IMB: SGSにおいて信頼性最高のパフォーマンス  
100,000時間のMTBF(平均故障間隔)を認証しています。**

<sup>1</sup> SR-1000のオプションによります。



GDCテクノロジーは、ISO 9001:2015認証を取得しています。

Copyright © 2025 GDC Technology Limited. All rights reserved. このパンフレットに記載されているすべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。仕様は、製品の開発・改良のため予告なく変更されることがあります。

# SR-1000スタンドアロンIMB™主な利点

## 高信頼性

医療および軍事製品に使用される組み込みパワーエレクトロニクスにより、システム全体の安定性が保証されます。SR-1000は、100,000時間MTBF (hours Mean Time Between Failures) のSGS認定を受けています。



## シリーズ1、2、3、4のプロジェクトターおよび主要なシネマLEDディスプレイとの互換性

SR-1000 IMBは、Barco、Christie、NECを含むシリーズ1、2、3、4のDLP Cinema®プロジェクトターとシームレスに統合され、高い信頼性とセキュアなコンテンツ配信を確保します。SR-1000 IMBは、シネマLEDディスプレイにも適応可能です。

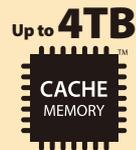


## コンテンツへのアクセスと処理速度の向上のため

最大4TBの内蔵CineCacheを活用すべく、以下の方法をご提案可能です

### 1 ローカルHDD必要なし。コンテンツのインジェスト・再生が30分以内で可能になります

CineCache™はDCPが再生中でも、コンテンツのインジェストを同時にすることが可能です。ローカルHDDなしに、一本の映画\*を30分以内にインジェストできます。これにより映画再生の終了を待たずに作業を行うことができます。



### 2 IMB間でのコンテンツ転送が可能です

1GbpsのLAN回線を使えば、映画再生に影響を及ぼすことなく、IMB間で高速伝送が可能です。一本の映画\*でおおよそ30分で伝送は終了します。

### 3 HFR・HBRコンテンツの高速・高信頼性再生

CineCacheは、一般的なDCPよりはるかに高いフレームレートやデータレートのコンテンツを高信頼性で再生する優れた技術です。

## 最大6TB外付けRAID SSDストレージとの連携を実現

コンパクトで軽量なRAID SSDストレージPSD-4000-SSDシリーズは、3TB、4TB、6TBのRAID-5を提供します。PSD-4000-SSDにより、ライブラリの全コンテンツを瞬時に他スクリーンと共有することが可能です。



## 何千もの映画再生をサポートします

Cinema Automation CA2.0と組み合わせると、2,000本以上の映画のスケジュールを最大限に活用できます。(UltraStorageテクノロジー)。コンテンツは、いつでも、どの画面でも再生できます。再生のために各画面にコンテンツを取り込む必要がなくなり、コンテンツ管理操作の時間を節約できます。

ULTRA storage

\*平均的な映画の実行時間は90~120分です。

## 内蔵DTSシネマ・オーディオ・オプション

SR-1000には3つのシネマ・オーディオ・プロセッシング・オプションが内蔵されています：1) DTSサラウンド、2) IABレンダリング用DTS:X付き15.1シネマオーディオプロセッサ、3) 最大32チャンネルのIABレンダリング用DTS:X内蔵オプションです。これらのオプションは、DTS:X for IABイマーシブ・オーディオやDTSサラウンド・シネマのための費用対効果の高いソリューションであり、映画館に高品質なオーディオを提供します。



## 直感的なWebベースのユーザーインターフェイスを備えたビルトインWi-Fi

オーディオ機能とビデオ機能の両方を、使いやすいWebベースのUIを介してリモートで構成および制御できます。SR-1000内蔵Wi-Fiに接続されたWebベースのUIは、ユーザーフレンドリーで直感的です。ドラッグアンドドロップ、フィルタリング、およびナビゲート機能により、オペレーターはタブまたはページを簡単に切り替えることができます。コンピューターやラップトップからUIにアクセスする以外に、スマートフォンやタブレットなどのハンドヘルドデバイスを使用することもできます。



# SR-1000スタンドアロン統合メディアブロック™ 仕様

システムインターフェース	2 x ギガビットイーサネット-(1GbE / RJ-45) 1 x eSATA 6 Gbps 2 x USB 3.0 (Aタイプメス) 1 x BNC (ビデオ同期入力) 1 x HDMI®2.0 (代替コンテンツ入力) 2 x 3G-SDI (ODS 入力) <sup>1</sup> 8 x GPI (2 x RJ-45) 8 x GPO (2 x RJ-45)
オーディオ出力	AES3 - 24ビット、最大24チャンネル、48KHz (2/3 <sup>1</sup> x RJ-45) AES67 <sup>1</sup> - 24ビット、最大32チャンネル、48KHz
オーディオ処理	IABデコーダーで最大32chのDTS:Xを実現 7チャンネル1/3オクターブグラフィックEQと独立した低音/高音コントロール (非LFEチャンネル) LFEチャンネルのパラメーターEQ (サブウーファー) すべてのチャンネルのグローバル遅延と、個々の8チャンネルの独立したオーディオ遅延 (500ms)
DCP再生	DCI準拠 JPEG 2000 <sup>2</sup> - 標準 2K - 24, 25, 30, 48, 50, 60 (2D) 2K - 24, 25, 30 (3D) アップグレード付きオプション <sup>3</sup> HFRオプション: 2K-120 (2D); 48, 50, 60 (3D) 4Kオプション: 4K-24, 25, 30 (2D) SMPTEおよびInteropデジタルシネマパッケージ (DCP)、最大ビットレート 500Mbps <sup>1</sup> ; IAB; DTS:X
ビデオ処理機能	色空間変換 - YCbCr709、REC 709、XYZ <sup>1</sup> 、YcxCzをサポート インターレース解除 2Kおよび4Kプロジェクターをサポートするスケーラー MPEG-2 H.264
コントロール	Webベースのグラフィカルユーザーインターフェイス シネマオートメーション - CA2.0 自動プレイリストプログラミング - CA2.0 サードパーティのTMS、NOCシステムから制御するためのAPI
セキュリティ	NexGuard®フォレンジック透かし FIPS 140-2 (レベル3セキュリティ認定済み)
サードパーティの統合オプション	サードパーティのTMS サードパーティの4Dシステム
字幕	字幕オーバーレイ Projector Cinecanvas™のサポート
消費電力	75W未満
ストレージオプション	CineCache 2TB/4TB CineCache 2TB/4TBを備えた冗長ローカルホットスワップ可能ストレージ (最大32TB) Ultra Storage - 画面あたり2TB/4TBのオンボードCineCacheを備えたCA2.0集中型ストレージサーバー
クローズドキャプションデバイス	SMPTE430-10をサポート
使用環境	寸法 - 320 (W) x 240 (D) x 63.7 (H)mm 重量 - 1.4 kg 動作温度 - 0°C to 40° (32°F to 104°F) 動作湿度 - 20% to 90%, non-condensing 最高動作環境 - 海拔10,000 ft. (3,000m) <sup>4</sup>

<sup>1</sup> 選択するオプションによって異なります

<sup>2</sup> サポートするフレームレートと解像度はGDCに確認してください

<sup>3</sup> 有料ライセンスが必要です

<sup>4</sup> ハードディスクの仕様によって異なります

# Built-in Cinema Audio Processor

## 仕様

### オーディオソース

DCPソース	5.1/7.1chサラウンド、最大32chのDTS:Xイマーシブオーディオ、IAB対応
HDMI入力	8チャンネルPCM
マイク入力 (AIB-2000/2800/3000またはHDMIアダプタ経由)	マイクレベル入力+48Vファンタム電源、ゲイン調整、HPF選択可 (AIB-2000のみ+48Vファンタム電源、HPF選択可)
非同期入力 (AIB-2000/2800/3000またはHDMIアダプタ経由)	ステレオラインレベル入力
アナログバランス7.1入力 (AIB-2000/2800経由)	8チャンネルアナログラインレベル入力
SPDIF input (via AIB-2800/3000)	光ファイバー1系統、同軸入力1系統

### オーディオ出力

デジタルオーディオ出力	最大24chのAES3、最大32chのAES67、LCR Monitor、HI/VI-N、LTC (4Dシステム用同期)、DBOXモーション信号
アナログオーディオ出力 (Audio IO BoxまたはDAC経由)	8/12/16/24/32chのバランスアナログラインレベル出力

### オーディオ処理

DSP処理 (5.1/7.1/15.1)	32ビット完全浮動小数点演算DSP処理
7チャンネル用のグラフィックEQ (非LFEチャンネル)	1/3オクターブグラフィックEQ (27バンド) バンドゲイン: 0.1dBステップで-6dB~6dB
7チャンネル (非LFEチャンネル) の低音/高音	低音レベル: 0.1dBステップで-6dB~6dB 高音レベル: 0.1dBステップで-12dB~12dB トレブルコーナー周波数: 1K / 2K / 3K / 4K Hz
LFE バスマネジメントパラメトリックEQ	中心周波数: 10Hzステップで20Hz~120Hz 帯域幅 (Q): 0.1ステップで0.5~10 ゲイン: 0.1dBステップで-12~6dB
LFEローパスフィルター	デフォルト/ SMPTE
クロスオーバー (5.1/7.1のみ)	Mode: 2-way
クロスオーバー/ベースマネジメントフィルター	フィルタータイプ: バターワース、リンクウィッツ・ライリー フィルタースロープ: -6、-12、-18、-24、-36、-48dB / オクターブ
リミッター	スピーカー・タイプ: パッシブ / アクティブ / 外部プロセッサー
すべてのチャンネルのグローバル遅延	-400~400ms
個々のチャンネルのオーディオ遅延	0~500ms
全チャンネルのボリュームコントロール (メインフェーダー)	-90dB~10dB (フェーダー0~10)
ミュート (フェードイン/フェードアウト) 期間の構成	0.1ステップで0.2~5.0秒
個々のチャンネルのチャンネルゲイン	0.1dBステップで-22dB~8dB
PCMチャンネル割り当て	はい
信号発生器	100Hz、1KHz、10KHz、PinkNoise、スイープ
オーディオ入力レベルメーター	16チャンネル
バックアップと復元	オーディオ構成のプリセット (イコライゼーション (EQ)、クロスオーバー、チャンネル遅延、グローバル遅延、ゲイン)
コントロール	Webベースのグラフィカルユーザーインターフェイス シネマオートメーションCA2.0 自動プレイリストプログラミングCA2.0 サードパーティのTMSおよびNOCシステムから制御するためのAPI
パフォーマンス	
ダイナミックレンジ (オーディオIOボックス経由)	>105dB